

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/11/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.19	-0.70
JPY/THB	0.2568	0.0048
USD/JPY	140.98	-5.49
EUR/THB	36.94	0.00
EUR/USD	1.0209	0.0198
USD/CNH	7.152	-0.122
SGD/THB	26.19	-0.11
AUD/THB	23.95	0.22
USD/INR	81.81	0.38
USD Index	108.21	-2.34

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.498	-0.050
10Y (THB)	3.019	-0.055
5Y (USD)	3.938	-0.303
10Y (USD)	3.813	-0.280

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,753.7	40
WTI (Oil)	86.47	0.64
Copper	8,271.5	167.0

Stock

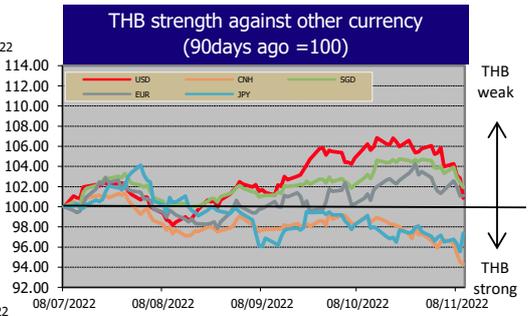
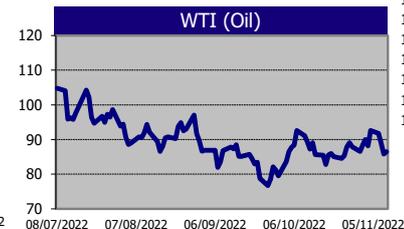
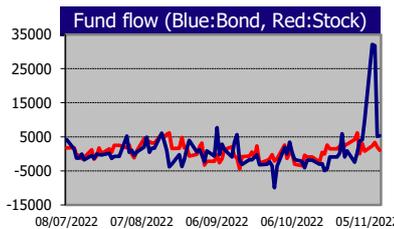
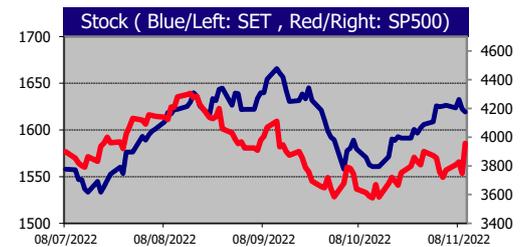
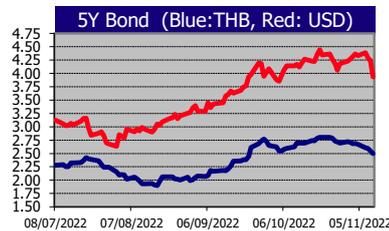
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,619.23	-3.22
NIKKEI (JP)	27,446.10	-270.33
DOW (US)	33,715.37	1201.43
S&P500 (US)	3,956.37	207.80
SHCOMP (CN)	3,036.13	-12.03
DAX(GER)	14,146.09	479.77

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,021	-960.8
Bond net flow	5,326	183.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは大きく下落。昨日のドルパーツは36パーツ台後半でスタート。序盤、バンコク時間10時にタイ10月消費者信頼感指数が発表され、前回対比良好化が確認されるも海外時間に米10月CPIの発表を控える中、ドルパーツ相場への影響は限定的となり、36パーツ台後半から37パーツちょうど付近での推移が継続。注目された米10月CPIは、コア指数も含め前回から低下し、市場予想も下回る結果となると米利上げペース鈍化観測が一気に強まる格好となり、36パーツ台前半まで急落。その後も幅広い通貨に対しドルが軟調な推移となる中、ドルパーツも36パーツ台前半での推移が継続。そのまま36.19レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は大きく下落。146円台半ば付近でスタートしたドル円は、米10月CPIの発表を控える中、146円台前半から半ば付近での推移が継続。海外時間に入り、米10月CPIの結果が米国のインフレ鈍化を示唆するものであることが確認されると、米金利が急低下し、ドルは主要通貨に対し大幅安の展開に。ドル円も一時140円台前半まで下落。およそ6円の値幅を伴う急落となった。その後、終盤にかけては多少値を戻し、140.98レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日米国時間、注目された米10月CPIが発表され、インフレが市場の予想以上に鈍化した。10月総合CPIは、前年同月比+7.7% (9月+8.2%)、コアCPI前年同月比+6.3%上昇 (9月+6.6%) という結果だった。この結果を受けて、市場では、12月FOMCでの利上げ幅について0.75%→0.50%の織り込み度合いが強まっている。米金融当局にとっても急激な利上げを減速させる余地が生まれたことを受けて、ドル円は3%超となる一時140円台前半まで急落した。マスター総裁(クリーブランド連銀)は、CPI結果を歓迎しつつ、引き締めが少な過ぎた場合の方が政策面でリスクが大きいとも指摘している。あくまでペース減速の議論で、利上げの一時停止はまだ先のような。引き続き、米金融当局の発言には注視する必要であろう。(前川)